

歴史の道

萩往還を巡って
周辺観光ガイドブック



吉田松陰歌碑



萩の町並み



板堂峠



防長国境碑付近



天花坂口



佐々並の町並み



防府市街



六軒茶屋跡

新しい出会いの道

萩往還を巡って

歴史を垣間見ながら街を歩こう。
萩往還は、城下町・萩(萩市)から山口を通り、三田尻(防府市)へ至る全長約53kmの江戸時代の街道です。藩主が参勤交代や領内巡視の際に通る公式の道として整備され、「御成道(おなりみち)」とも呼ばれ、庶民にとっても日本海側と瀬戸内海側の地域を結ぶ連絡道としても重要な役割を果たしました。

幕末には、坂本龍馬、吉田松陰先生、また高杉晋作をはじめとして、維新の志士たちも往来したといわれています。

いろいろな町を形成し歴史を培ってきた萩往還…。そこには多彩な文化を今に伝えています。

歴史の道から新しい出会いを求めて街を歩いてみませんか。



萩市①

萩城～明木市
城下町萩で
歴史の浪漫にひたる

2・3P

萩市②

明木市～防長国境
自然に抱かれながら
石畳や山道を
そぞろ歩く

4・5P

山口市

防長国境～鯖山峠
西の京山口で
大内文化の栄華を
たどる

6・7P

防府市

鯖山峠～三田尻
天神さまのまちで
千年を超える歴史を
訪ねる

8・9P

萩往還
とりびあ

知っておきたい、
よせやま話

10・11P

めいしんぶお
しよん

皆様のお越しを
お待ちしております。

12・13P

萩市①

萩城～明木市



萩城跡 関ヶ原の合戦の後1604年に築城。石垣と堀の一部が昔の姿をとどめ、春は桜が咲き誇ります。



松陰神社宝物殿「至誠館」
(松陰神社境内)

吉田松陰の遺墨・遺品の展示、松陰ゆかりの場所を紹介しています。館内ショップではオリジナルグッズの販売も。
(TEL 0838-22-4643)



菊屋横町

萩の御用商人 菊屋家や高杉晋作誕生地があり、美しいなまこ壁が続きます。城下町の面影を色濃く残し「日本の道百選」に選ばれています。



道の駅 萩往還

平成22年10月にリニューアル。農産物直売所や萩の名産を置く物産館、見蘭牛のランチが食べられる食事処があります。オリジナルの夏みかんソフトクリームも絶品。
(TEL 0838-22-9889)



萩博物館

萩のさまざまな資料を展示。自然や歴史、文化の遺産が散りばめられた「萩まちじゅう博物館」(萩のまち)の中核施設です。
(TEL 0838-25-6447)



M A P & A C C E S S I N F O R M A T I O N



すいっ

夏みかん丸漬け



見た目は夏みかんですが中身はようかん!ほろ苦い夏みかんの皮の風味とようかんのマッチングがグッド。

夏みかんソフト



萩の名産・夏みかんを使った爽やかなソフトクリーム。店舗によってオリジナルの趣向をこらしたのもあり楽しめます。

蒸気まんじゅう



萩では鯛焼よりコレ!幕末の軍艦を形取った全国でも非常に珍しい形の、あんこ入り焼き饅頭。

城下町萩で
歴史の浪漫にひたる

ばわーすぽっと

笠山 KASAYAMA

火口まで降りることができる全国的にも珍しい火山。天然のクーラーと呼ばれる風穴、明神池もあり、夏でも涼しさを感じるスポットです。



唐樋札場跡

江戸時代、萩往還の起点で、幕府や藩のお触れを書き記した高札を掲げたり、罪人の見せしめが行われました。

涙松跡

萩のまちが見える最後の地点。旅人が行き帰りに別れの涙や嬉し涙を流したといわれ、吉田松陰の歌碑が建っています。



おすすめぐるめ

ギョロッケ&ごぼう巻き

ギョロッケは、魚のすり身をコロッケ風にした萩市民のソウルフード。ごぼう巻きは、かまぼこの原料魚「えぞ」の皮を醤油ダレに漬け込みごぼうに巻き付けた香ばしい香りとおごたえが売ります。いずれも萩往還を歩いた後のビールにぴったり!



↑ギョロッケとごぼう巻き

瀬つきあじ

エサの豊富な天然の瀬にすみつき、ぼつてり肥えて、脂の乗りが良いのが自慢。萩沖の逸品です。



萩おみやげ博物館

萩焼、萩ガラス、夏みかん製品や地酒など常時約300種類のお土産がそろそろセレクトショップ。
(TEL 0838-26-5339)



明木市

萩往還沿いの宿場町として栄えた石州赤煉瓦の町並み。古民家の格子戸が懐かしさを感じさせます。



乳母の茶屋

毛利家の乳母をした人が御茶屋を与えられたという言い伝えて、跡地が休憩所になっています。



一升谷の石畳

ノスタルジックな佇まいから萩往還を象徴する道。歩きながら「一升の炒り豆がちょうど食べ終わる」ことから呼ばれました。



明木まんじゅう

明木の名物。自然の素材だけを使ったその味は、毎日食べても飽きないおいしさです。

西来寺

秋の紅葉が楽しめるスポット。山門の瓦には天皇家と同じ「菊の御紋」があり、萩場築城で功績のあった彦六・又十郎の石碑もあります。



M A P & A C C E S S



七賢堂の展望台

竹林道路公園の展望台からは四季折々の景色とはるか萩沖の漁火が見えます。



道の駅あさひ

ささなみ豆腐など地元の特産品や農産物などを販売。ドイツの木彫り人形やお菓子もあります。



←ドイツハウスパレットコーナー

おすすめぐるめ

ささなみ豆腐

清らかな水を使って大豆を生しぼりで作る伝統の豆腐。伊藤博文もこよなく愛した味です。



上長瀬の一里塚

萩唐樋札場から5里、防府三田尻から7里を示す一里塚。自然石を組んだ当時のままの姿です。



発見!!

マンホールのふた

歩いていると目につくマンホール。萩往還と刻印があり、元気をもらえる。

自然に抱かれながら
石畳や山道をそぞろ歩く



落合の石橋

石組みの川岸から張り出した石を橋げたにした刎橋形式の橋。山口県特有の造りです。



佐々並市

明木市とともに萩往還の宿場町として栄えました。赤瓦の家が軒をつらね、風情のある町並みです。

M A P & A C C E S S





国宝瑠璃光寺五重塔

日本三名塔に数えられる国宝。緑を背にたたずむ姿は圧巻で、夜はライトアップされます。



山口市菜香亭

明治初期に料亭として創業。100畳の大広間に並ぶ歴代首相らの扁額は一見の価値あります。



大路Lobby

大内人形やアクセサリなどかわいい小物がそろっています。お休み処で抹茶はいかが？



山口ふるさと伝承総合センター

かつての酒造商家を整備した「まなび館」には、大内人形が展示されています。大内塗の箸づくり(要予約/TEL083-928-3333)も体験できます。旅の記念に、大内人形撮影パネルで、写真撮影はいかがですか？

西の京山形で 大内文化の栄華をたどる



一の坂川

大内氏が京都の鴨川に見立てた川。春には桜が咲き誇り、初夏にはホテルが舞います。



湯田温泉

傷ついた白狐が傷を癒したという伝説があり、大内氏の時代から800年の歴史を誇ります。



すいっ 手作り風香外郎

手作り外郎キットで、できたての外郎を味わってみては？外郎づくり体験(要予約/三隅勝栄堂TEL083-922-1026)も出来ます。



十朋亭

旧家萬代家の離れで、江戸時代中期の建物。多くの志士がここを訪れて滞在しました。



枕流亭

幕末、薩長連合の協議のため坂本龍馬の仲介で、薩摩藩の西郷隆盛や木戸孝允ら志士たちが会見した場所。



おすすめぐるめ

昭ちゃんコロッケ

全国コロッケコンクール金賞受賞の日本一のコロッケを一度ご賞味ください。



特産品ショップ やまぐちさん

県内の食品・海産物などの特産品を中心に、大内塗・萩焼等の土産など、幅広く取り扱っています。

ぱわーすぽっと

八坂神社の盃状穴

大内弘世が京都から勧請した八坂神社内にある盃状穴は、豊作や安産をもたらすシンボル。



M A P & A C C E S S I N F O R M A T I O N



千年を超え歴史を訪ねる
 天神さまのまちで



防府天満宮

学問の神様・菅原道真公を祀ります。2月は梅が見頃。幸せの「LOVE 神社おまもり」がオススメ。



かまぼこ

海の幸を生かした名産。それぞれの店舗が伝統を受継ぎ、味わい深い味が特徴です。



暁天楼(芳松庵庭内)

坂本龍馬や高杉晋作らが密談したといわれ、彼らが墨で文字を書いた戸袋板が残っています。



防府市まちの駅 「うめてらす」

情報コーナー、特産品・おみやげコーナー、バイキング形式の食事処がある防府の新観光拠点。



周防国分寺

本尊薬師如来など50余体の仏像を安置。住職の話聞きながらの仏像巡りや写真もできます。(要予約/TEL 0835-22-0996)



宮市本陣兄部家

江戸時代、主に西国の大名が参勤交代の宿として利用した旧家。(建物内の見学はできません)



三田尻御茶屋 (英雲荘)

萩往還終点にあたる藩の公館。参勤交代の際などに利用され、多くの志士が出入りしました。(現在修復中)



梅ソフトクリーム

菅原道真公とゆかりのある梅を使用したソフトクリーム。防府天満宮内の食事処にて。



おすすめぐるめ

防府名物 「天神饅頭」

防府の夏の味覚。シーズン(6月～9月)に、市内の料理店で地元産のものを味わえます。



三田尻御舟倉跡

江戸時代には、参勤交代などのための海上交通の拠点が置かれ、水路の跡が残っています。



ほうふ 昭和館

昭和30年代の町並みや生活の様子を再現。古きよき時代へタイムトリップ。



ぱわー すぽっと

桑山立木観音

イチヨウの立木の洞に彫られた1mの観音像。一生に一度の願いが叶うと言われています。

萩往還とりびあ

1

藩庁の移転の歴史

現在の山口県庁の入口付近にある藩庁門。幕末期の1863年、13代藩主の毛利敬親が、居城を萩から山口に移す際、表門として建造されたと言われている。一時萩城へ再度移転したが、1866年に再び山口へ藩庁を移転。室町時代の木内氏の時代以来、再び山口に政治の拠点が戻ったのである。



4

道が険しい理由

萩と三田尻をほぼ直線に結んでいるため、急峻な坂道や峠などの難所が多いのが萩往還の特徴。山の道中で見かける石畳は、土砂が流れないように、しっかりと石を敷き付けて舗装しているのである。



6

そもそも萩往還とは…?

吉田松陰や高杉晋作、坂本龍馬も歩いた萩往還。もともと木内氏の時代に道は整備されていたが、江戸時代になって参勤交代のための道として、毛利公の「御成道(おなりみち)」となった。山陰と山陽を結び連絡道でもあり、庶民たちにとっても重要な交通路になった。



8

もしお城が萩でなかったら…?

1600年の「関ヶ原の戦い」で敗れた西軍側についていた毛利輝元は、領地が周防・長門2カ国のみ減らされた。新たに本拠地となる城を築くために、防府の桑山、山口の鴻ノ峰、萩の指月山の3カ所を候補にしていたが、幕府の意向で最も交通の不便な萩に決定。もし、山口や防府に決まっていれば、萩を結び街道は「御成道」として整備されなかったであろう。



2

多くの指定、選定を受ける道

「国指定史跡」、「歴史の道百選」「美しい日本の歩き方」など、500選「夢街道ルネサンス」など、日本風景街道など、様々な指定、選定を受けている歴史と由緒ある街道である。



山口県民なら知っておきたい(?) 萩往還にまつわるよもやま話。全部知っていたらかなりの通です。

9

「御茶屋」ってカフェ?

お茶を接待する今でいう喫茶店で、旅人の宿屋を兼ねることもあった。長州藩では、藩主の参勤交代道中や、藩内巡回の公的な宿泊施設の事を御茶屋と言っていた。特に山陽道筋の御茶屋は、幕府の役人や九州諸大名の参勤交代の通行時に利用される、外交上の重要な施設にもなっていた。



3

「伊藤井上両公上陸記念碑」のいわれ

海外の進んだ文明を学ぶため、英国に密留学した長州の侍5人「長州ファイブ」(伊藤博文、井上馨、井上馨、山尾庸三、遠藤謹助)。英国にて長州藩の外国船砲撃の情報を知り、井上馨と伊藤博文は途中で帰国。無謀な攘夷を止めさせるために、二人は横浜に一旦上陸し、英国の軍艦に送られて防府の富海から山口に向かった。富海の「伊藤井上両公上陸記念碑」はそんな二人の歴史を刻んだものである。



5

「真」萩往還

毎年11月下旬に開催される、山口市三大祭りの一つ「山口天神祭」。御神幸行列や参勤交代を再現した備立行列(そなたてぎょうれつ)が練り歩くのは、山口市の大西門前～黄金町～山口駅前～という萩往還とは若干違うルート。ただ、地元ではこちらこそ萩往還という認識があり「真」萩往還とも言われているという。



7

江戸時代の地図が生きるまち「萩」

萩は約260年もの間、毛利36万石の城下町として栄えた。災いや戦災を免れたため、今も武家屋敷など江戸時代の町並み、歴史的景観を数多く残している。そのためか、現在、江戸時代の地図がそのまま使えるまちなのである。



10

参勤交代の起源は?

参勤交代は、各藩の大名が1年ごと江戸に出仕する制度だが、鎌倉時代における御家人の鎌倉への出仕がその起源とされている。戦国時代には戦国大名の一部は、居城の城下町に武士を集めるようになった。その後、豊臣秀吉が大坂城・聚楽第・伏見城で支配下の大名に屋敷を与え、そこに妻子を住ませたことから全国的な参勤制度の原型ができあがったと言われている。



皆様の お越しをお待ちしております。

萩市 ①

萩城〜明木市



萩往還散策のご休憩に、品質・鮮度にこだわった商品を取りそろえています。

道の駅萩往還
◎駅長 篠原さん



萩のお土産ならなんでもそろう“おみ博”へどうぞ。

萩おみやげ博物館
◎山下さん



観光・宿泊・食などお任せください。ぶち楽しい旅行をお手伝いします。

萩市観光協会
◎平野さん

萩にお泊りの際はお気軽にご利用ください。

萩温泉旅館協同組合
◎鈴木さん



萩市 ②

明木市〜防長国境



山や緑に囲まれた隠れ家的な観光農園です。ご来園お待ちしております。

旭サンファーム
◎河村さん

ささなみ豆腐は伊藤博文がこよなく愛した維新の豆腐です。



土山商店
◎土山さん

山口市

防長国境〜鯖山峠



県内の特産品を取りそろえております。是非お越しください。

特産品ショップ やまぐちさん
◎代表取締役社長 野村さん

山口名物、山口で生まれた日本一の金賞コロッケ、どうぞ食べてみてください。

昭ちゃんコロッケ
◎代表取締役社長 田中さん



萩往還散策の後は、湯田温泉でゆっくりとおくつろぎください。湯田温泉へおいでませ。

湯田温泉旅館(協)
◎理事長 宮川さん



私たちが菜香亭をご案内します。100畳の大広間でお待ちしております。

山口市菜香亭
◎職員の皆さん

防府市

鯖山峠〜三田尻

旅の途中の休憩にぜひお立ち寄りください。



防府市まちの駅うめてらす
◎駅長 岡さんと副駅長 藤井さん

防府の観光はうめてらすから。レンタサイクルもありますよ。



アーケードの中にある青果店です。地元の旬の野菜や果物がそろっています。ぜひ、お立ち寄りください。

斉藤青果店
◎斉藤さん



第4日曜日の午後に昔遊び教室やっています。コマやメンコなど、懐かしさいっぱい。遊びに来てください。

ほうふ昭和館
◎館長 有馬さんと 神徳さん



主な祭り・イベント

- 2月上旬: 節分祭・牛替神事 (防府市 防府天満宮)
- 2月中旬〜3月中旬: 萩・椿まつり (萩市 笠山椿群生林)
- 3月上旬: 萩しる魚まつり (萩市 山口県漁協萩地方卸売市場)
- 3月〜4月: 山口お宝展 (山口市 大蔵・白石・湯田地区)
おいでませ山口お宝めぐり (萩市、山口市、防府市他)
- 4月上旬: 湯田温泉白狐まつり (山口市 湯田温泉街)
- 4月下旬: 春の壺まつり (防府市 末田・堀越)
- じばさん春まつり (防府市 デザインプラザHOFU)
- 5月上旬: 萩焼まつり (萩市 萩市民体育館)
- 萩往還まつり「技・明木展」 (萩市 萩往還交流施設「乳母の茶屋」・周辺民家)



萩往還まつり「技・明木展」

- 大平山つつじまつり (防府市 大平山山頂公園)
- 萩往還マラニック
- 5月中旬: 萩・夏みかんまつり (萩市 かんきつ公園・旧田中別邸ほか)
- 5月下旬: 浜崎伝建おたから博物館 (萩市 浜崎エリア)
- 5月下旬〜6月上旬: ほたる観賞ウィーク! (山口市 一の坂川)
- 7月下旬: 山口祇園祭 (山口市 八坂神社・壱小路ほか中心商店街)
- 8月上旬: 萩・日本海大花火大会 (萩市 萩商港菊ヶ浜周辺)
防府天満宮夏祭り大花火大会 (防府市 防府天満宮)
山口七夕ちょうちんまつり (山口市 中心商店街・パークロード)
- 8月中旬: 萩・万灯会 (萩市 大照院・東光寺)

- 10月上旬: アートふる山口 (山口市 一の坂川・壱小路一帯)
- 着物ウィークin萩 (萩市 萩城下町)
- 10月中旬: 愛情防府フリーマーケット (防府市 中心市街地・商店街ほか)
- 10月下旬: 秋の壺まつり (防府市 末田・堀越)
- 11月上旬: じばさんフェア (防府市 デザインプラザHOFU)
- 11月中旬: 萩時代まつり (萩市 萩城下町・市内各所)
- 11月下旬: 山口天神祭 (山口市 古熊神社・中心商店街)
御神幸祭(裸坊祭) (防府市 防府天満宮)
ささなみおいでん祭 (萩市 佐々並)



行程記(山口県文書館蔵)

■ お問い合わせ ■

萩市観光課

TEL 0838-25-3139 <http://www.city.hagi.lg.jp/portal/>

社団法人萩市観光協会

TEL 0838-25-1750 <http://www.hagishi.com/>

山口市観光課

TEL 083-934-2810 <http://yamaguchi-city.jp/>

財団法人山口観光コンベンション協会

TEL 083-933-0088 <http://yamaguchi-city.jp/>

防府市観光振興課 一般社団法人防府市観光協会

TEL 0835-25-2148

<http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/hofucity/kankou/index.html>(防府市)

<http://www.kanko-hofu.gr.jp/>(防府市観光協会)

地域資源∞全国展開プロジェクト

歴史の道「萩往還」資源活性化事業 推進委員会

萩商工会議所 ☎0838-25-3333 山口商工会議所 ☎083-925-2300
萩・阿西商工会 ☎0838-54-5500 防府商工会議所 ☎0835-22-4352

<http://hagi-okan.yamaguchi-city.jp/>